

平成28年11月21日
東日本高速道路株式会社 関東支社

東京外環自動車道の車線規制工事における安全性向上について (移動式防護柵(ロード・ジッパー・システム)の導入)

現在実施している東京外環自動車道(外環道)のベルトコンベア設置工事については、ご協力いただきありがとうございます。

この度、安全性を一層強化するため、車線規制の一部の区間に移動式防護柵(ロード・ジッパー・システム)を導入します。

1. 移動式防護柵(ロード・ジッパー・システム)の概要

ロード・ジッパー・システムは、コンクリート製防護柵を、専用の防護柵切替用車両を用いて移動させることができるシステムであり、道路の混雑状況に合わせて、工事車線規制範囲を自在かつ安全に変えることが可能です。

コンクリート製防護柵にて通行車線と作業帯を分離することにより、お客様及び規制内作業の安全性が向上します。

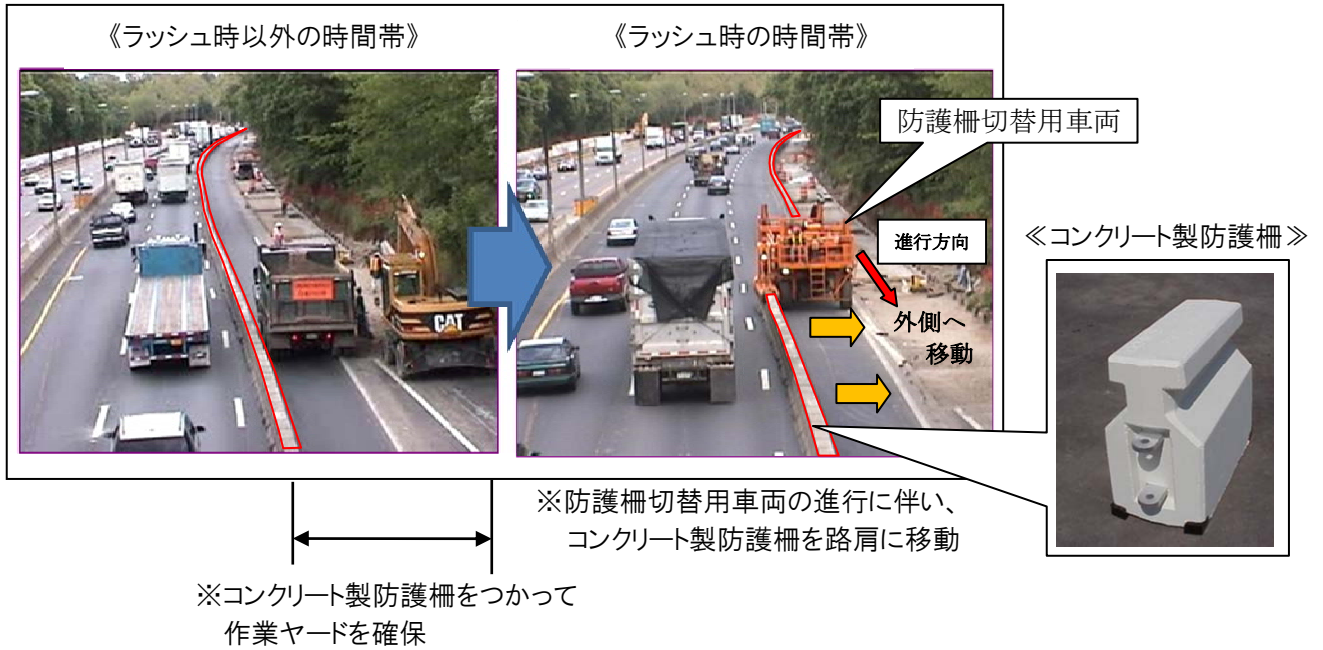


《防護柵切替用車両》



《作業状況(常磐道)》

ロード・ジッパー・システムを使用した施工事例（ニューヨーク州）



2. 工事の概要

- 対象工事 東京外かく環状道路 本線トンネル(南行)大泉南工事
- 期 間 平成28年11月21日～平成29年3月(予定)
- 導入箇所 外環道(外回り) 大泉JCT～和光IC区間の工事車線規制箇所(約1.5km)
- 規制内容 交通量が減少する夜間に、ロード・ジッパー・システムを用い車線規制し、
工事を実施します。
- 工事概要 ベルトコンベア設置のための基礎工事

